

ボランティア活動論

責任者・コーディネーター	医学教育学講座 佐藤 洋一 教授 人間科学科心理学・行動科学分野 相澤 文恵 准教授		
担当講座・学科(分野)	医学教育学講座、人間科学科心理学・行動科学分野、人間科学科文学分野		
担当教員	佐藤 洋一 教授、相澤 文恵 准教授、藤澤 美穂 助教、平林 香織 教授		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

医療人を目指す立場から多角的に福祉について考察する。福祉とは何かということ、わが国の社会福祉制度、及び、障がいの種類について理解する。社会におけるボランティア活動の意義を正しく認識し、地域社会におけるボランティアの在り方について医療人学徒としてのビジョンを形成する。障がい者扶助に必要な実践的な知識や技能を身につけ、実際のボランティア活動に生かすことで、医療と福祉の関わり的重要性について体験的に理解を深める。

・教育成果（アウトカム）

1. 福祉・ボランティアの定義を説明し、その精神を理解し、自らの医療人イメージに組み込むことができる。
2. わが国の社会保障制度について理解し、障がいの種類とそれぞれに必要なケアについて説明することができる。
3. 障がい者扶助に必要な実践的な知識や技能を身につけ、ボランティア活動に応用することができる。
4. H28 年度いわて国体のスポーツボランティアの活動内容を理解することができる。

・到達目標（SBO）

1. 福祉の倫理と意義について理解し、ボランティアについて理解を深める。
2. 医療と福祉の密接なかかわりについて理解を深める。
3. 現代社会における福祉制度と政策を理解する。

・講義日程

(矢) 東 207 2-E 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/14	木	2	いわて国体事務局職員		障がい者スポーツについて 希望郷いわて国体実施要領
4/21	木	2	附属図書館 人間科学科 心理学・行動科学分野	武田 さち恵 氏 (障がい者アチェリ協会会員) 相澤 文恵 准教授	社会におけるボランティア活動

4/28	木	2	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	地域社会における相互扶助精神の伝 統とボランティア —庚申講を中心に—
5/12	木	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	災害とボランティア
5/19	木	2	岩手看護短期大学 成人看護学	向井 朗子 講師	肢体不自由のある人への理解と支援
5/26	木	2	岩手看護短期大学 基礎看護学	鈴木 恵子 教授	内部障がいのある人への理解と支援
6/2	木	2	岩手看護短期大学 地域看護学	大澤 扶佐子 准教授	知的障がいのある人への理解と支援
6/9	木	2	岩手看護短期大学 精神看護学	吉田 ちあき 講師	精神障がいのある人への理解と支援
6/16	木	2	岩手看護短期大学 老年看護学	相馬 一二三 教授	視覚・聴覚障がいのある人への理解 と支援
6/23	木	2	人間科学科 文学分野	久保田 美恵子 非常勤講師	聴覚障がいのある人への支援(手話)1
6/30	木	2	人間科学科 文学分野	久保田 美恵子 非常勤講師	聴覚障がいのある人への支援(手話)2
7/7	木	2	人間科学科 文学分野	久保田 美恵子 非常勤講師	聴覚障がいのある人への支援(手話)3
7/14	木	2	岩手看護短期大学 小児看護学	最上 玲子 准教授	ボランティア体験
7/21	木	2	人間科学科 心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	まとめ —ボランティア活動論を振り返る—

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
登録済の教科書・参考書等はありません				

・成績評価方法

受講態度 40%、課題への取り組み 60%によって評価する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、課題教材を用いて事前学修を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・特記事項・その他

・「聴覚障がいのある人への支援（手話）1-3」は、「医療とコミュニケーション」との合同講義とする。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC(dynabook R634/K)	1	講義資料の提示
講義	書面カメラ・DVD プレーヤセット	1	講義資料の提示